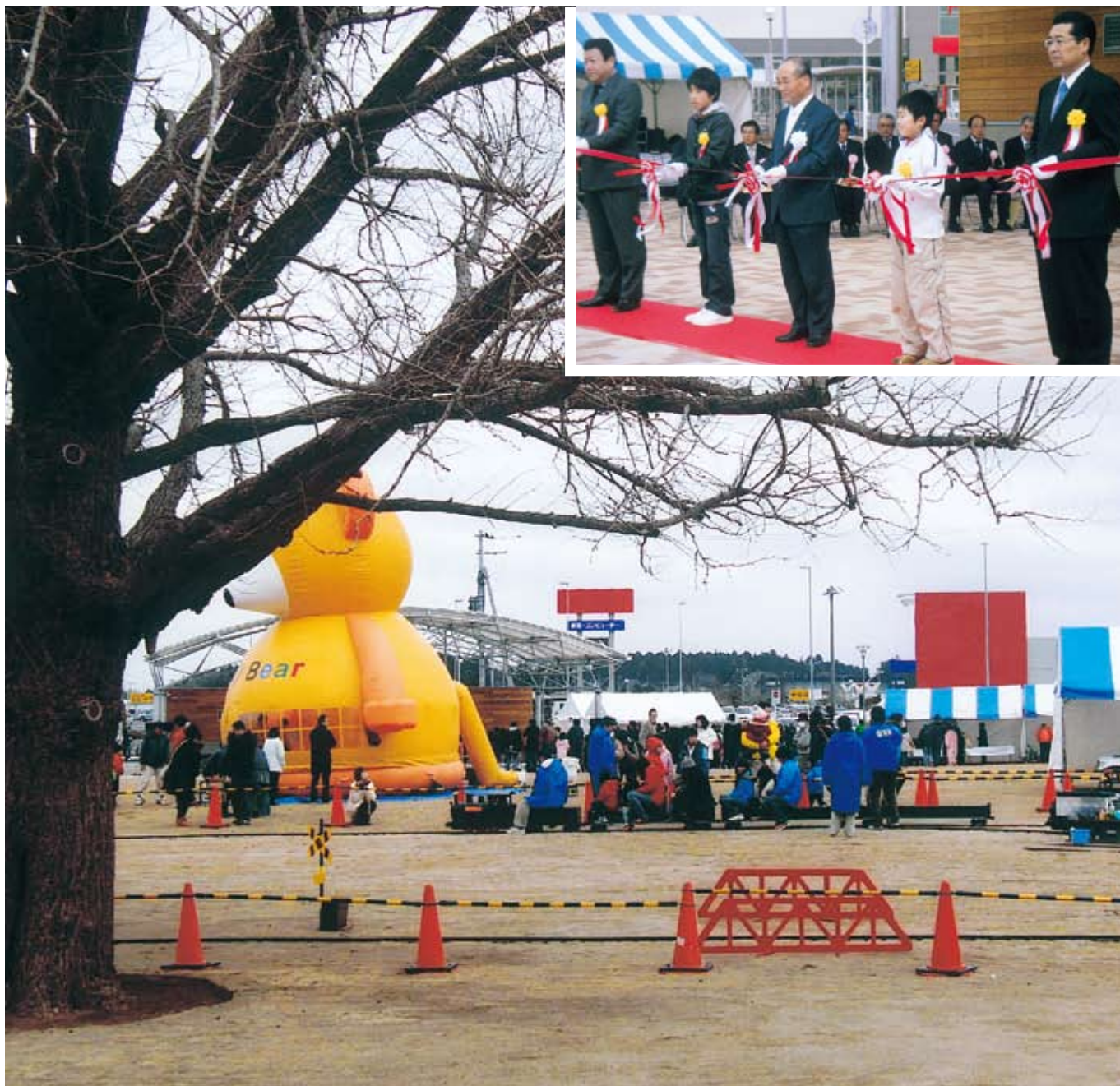


こんにちは とみさと議会です

発行／富里市議会
編集／とみさと議会報編集特別委員会
発行日／平成22年5月1日
住所／〒286-0292
千葉県富里市七栄652-1
TEL:0476-93-6492
FAX:0476-91-3595

第166号



新木戸大銀杏公園オープニングセレモニー（3月28日）

3 平成22年
月 定例会



3月定例会の議案と議決結果	2
予算審査特別委員長報告	3
みなさんからの請願・陳情	4
一般質問	5

平成22年度当初予算案などを可決

一般会計135億1千万円

特別会計77億4千万円

水道事業会計11億3千万円

3月定例会は、2月23日から始まり、3月25日まで31日間の会期で開かれました。

市長から施政方針が述べられるとともに議案三三件が提出され、それぞれ原案どおり、可決しました。

また、継続審査となっていた富里市協働のまちづくり条例が修正議決されました。

議員提出議案は三件が提出され、それぞれ原案どおり可決しました。

一般質問は、三会派の代表から会派代表質問が、個人質問は七人の議員が行い、市の諸問題について見解を求めました。

3月定例会の議案と議決結果

市長提出議案

議案第1号	平成22年度富里市一般会計予算	多数可決
議案第2号	平成22年度富里市国民健康保険特別会計予算	多数可決
議案第3号	平成22年度富里市下水道事業特別会計予算	全会可決
議案第4号	平成22年度富里市老人保健特別会計予算	全会可決
議案第5号	平成22年度富里市介護保険特別会計予算	多数可決
議案第6号	平成22年度富里市後期高齢者医療特別会計予算	多数可決
議案第7号	平成22年度富里市水道事業会計予算	全会可決
議案第8号	富里市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	全会可決
議案第9号	富里第二工業団地公共下水道整備基金条例の制定について	全会可決
議案第10号	富里バスターミナル駐車場の設置及び管理に関する条例の制定について	全会可決
議案第11号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	多数可決
議案第12号	富里市長及び副市長並びに教育委員会教育長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会可決
議案第13号	富里市職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	多数可決
議案第14号	富里市自転車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会可決
議案第15号	富里市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	全会可決
議案第16号	財産の処分について	全会可決
議案第17号	富里市道路線の変更について	多数可決
議案第18号	富里市道路線の廃止について	多数可決
議案第19号	富里市道路線の認定について	全会可決

議案第20号	成田市道路線の認定の承諾について	全会可決
議案第21号	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	全会可決
議案第22号	平成21年度富里市一般会計補正予算(第5号)	全会可決
議案第23号	平成21年度富里市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	全会可決
議案第24号	平成21年度富里市下水道事業特別会計補正予算(第4号)	全会可決
議案第25号	平成21年度富里市介護保険特別会計補正予算(第3号)	多数可決
議案第26号	平成21年度富里市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	全会可決
議案第27号	平成21年度富里市水道事業会計補正予算(第3号)	全会可決
議案第28号	平成22年4月に支給する富里市長及び副市長並びに教育委員会教育長の給料の特例に関する条例の制定について	多数可決
議案第29号	財産の取得について	全会可決
議案第30号	財産の取得について	全会可決
議案第31号	訴えの提起について	多数可決
議案第32号	訴えの提起について	多数可決
平成21年12月定例会議案第2号	富里市協働のまちづくり条例の制定について	修正議決

議員提出議案

発議案第1号	生産性の高い競争力に富んだ農家の育成を求める意見書について	多数可決
発議案第2号	国として直接地域の声を聞く仕組みを保障することを求める意見書について	多数可決
発議案第3号	子ども手当財源の自治体負担に反対する意見書について	多数可決

協働のまちづくり条例

審査特別委員会委員長報告

(抜粋)

委員長 櫻井 優好

本委員会は、平成21年12月定例会において、議員九名の構成により設置され、本日まで委員会を九回開催しました。

審査は条例の前文から各章ごとに分割して行い、参考人として(仮称)富里市協働のまちづくり条例検討委員会の委員長、アドバイザーの両氏から説明を求めました。

また、執行部の説明及び委員の質疑を行い、さまざまな観点から条文の審査を行いました。

採決に至るまでの間に、各委員から多くの質問、討議がなされ、活発な意見交換があり、審議を尽くしたうえで採決しましたことを、まずご報告いたします。

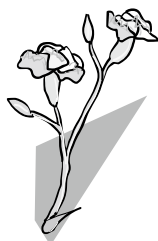
ます。

質疑終了後、3月8日開催の委員会において、二案の修正案が提出されました。

採決では、各修正案に共通部分がありまして、まず共通部分を除く修正案について採決した結果、賛成少数で否決されるべきものと決定しました。

次に、修正案及び一案の修正案中共通部分を採決した結果、賛成多数で可決されるべきものと決定しました。

次に、修正部分を除く原案について採決した結果、賛成多数で可決されるべきものと決定しました。



予算審査

特別委員会委員長報告

(抜粋)

委員長 窪田 優

「平成22年度富里市一般会計予算」について、4日間にわたり議場にて、議員全員で構成される「予算審査特別委員会」が開催されました。

一般会計は、一三五億六〇〇万円、前年度比七・五パーセント増、特別会計総体は

一・四パーセントの増の七七億三、七六二万一、〇〇〇円。一般会計、特別会計の総額としては五・二パーセント増の二二億四、三六二万一、〇〇〇円。

予算編成については、一般会計は昨年に引き続き行政組織別予算制度により、特別会

平成22年度当初予算

会 計	当初予算額	対前年度比較
一般会計	135億 600万円	7.5%増
特別会計		
国民健康保険特別会計	50億6,195万円	0.5%増
下水道事業特別会計	6億6,790万円	0.6%減
老人保健特別会計	281万円	66.3%減
介護保険特別会計	17億3,704万円	2.2%増
後期高齢者医療特別会計	2億6,793万円	22.8%増
企業会計		
水道事業会計	11億3,420万円	3.4%減

計は従来どおり積み上げ方式による編成で行ったとのことでした。

性質別の歳出予算で大きなものは、子ども手当・児童手当関係経費等の増加で扶助費が三六・四パーセント増え、普通建設事業費は、新たな民間保育所施設整備費等補助金や成田財特路線整備事業など四・六パーセントの増です。

質疑について

各委員から多岐にわたる質疑等がありましたがここで全て申し上げられないことを先に申し上げ、意見・要望のありました何点かについて報告させていただきます。

総括・総務関係 不正経理について

千葉県で問題になっている不正経理の件が管理基準を明確にする動きがあるが富里市の対応はどのようなことになっているかということ

に対して「各部署で不正の無いように点検指示を各所属長に指示して報告を求めている」とのことでした。

人件費について

昨年、職員の期末手当削減を行ってはいるが、全体としては上がっている。共済関係の負担金が増えているので、地方公務員削減などの影響からそれを支える負担金が増えていることが影響している。とのことでした。

さとバス運営について現在の形が良いのかいろいろ意見がありましたが、運行ルート変更の予定はないとのこと。担当課はバスの耐用年数も考えると、今後「富里市地域公共交通会議」の中であり方等についても検討してもらおう予定で考えている。とのことでした。

健康福祉・環境関係 国保会計について

一般会計からの繰り出しが一億六千万に上

る。徴収率が全国的にもワーストであることから税の公平負担の実現のために平成21年度から「納税課」をつくらせて徴収体制の整備を図って努力をしているとのこと。

民間保育所施設整備費補助金について

富里市北部地区に民間事業者が設置を予定している保育園ができることで市内待機児童の大幅な減少が期待される。特に要望の高い0～2歳児のニーズに対応できる支援を市が積極的に行うべきであると強く求めました。
子供手当給付事業について

6月から一人一三、〇〇〇円が給付される予定。地方負担がないように、と全国市長会が交渉してきたが厚生労働省の説明では「今まで負担していた児童手当にかぶせているのでその負担を超えることはない」という説明が

ありましたとのこと。こども医療費助成について

千葉県は小学校3年までの無料化を12月から実施する予定だが、富里市はこれに先駆けて6月から実施を決めました。議員からは義務教育の中学3年まで無料化実現に向けて努力されるように強く要望しました。

教育関係

スイカロードレース大会について

市の大きなイベントの一つだがネットの申し込みでは瞬時に一杯になり締め切られた点については、抽選にしたり参加費のことなども「検討が必要ではないか」と次年度では改善できるように要望しました。

小学校用地について

財務省関東財務局からの借地で借地料を払い続けていることについて多くの委員から質問が出され、「安く買い取るな

どの交渉が必要なのではないか」との指摘をいたしました。

経済・都市建設

観光推進事業について

富里の歴史や伝統文化を再確認して観光資源の開発、発掘の推進で富里の観光をもっとPRするように積極的な取組の工夫をする努力を要望しました。

成田財特路線整備事業について

関心の高い、(仮称)酒々井インターの設置に向けて市道〇一〇〇八号線バイパス工事は相当進むと考えられるがこれに担当課で対応できる人員配置を整えられるように要望しました。

道路関係について

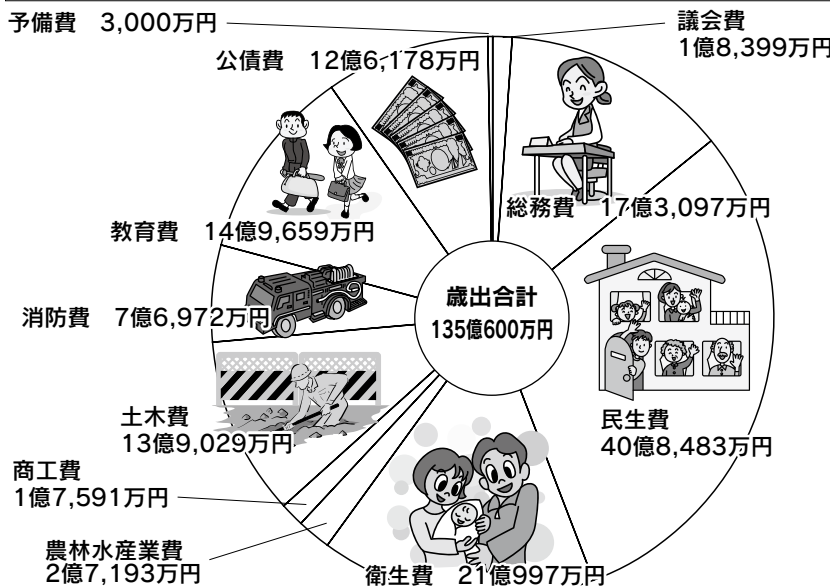
道路の維持管理については市内のいろいろなところで老朽化が進み補修の要望が出るが、順次対応されているとのこと。限られた予算の中で専門業者に委託しなくても補修が

可能などところは職員が自ら補修作業に当たり努力していることなどの説明を受け、少ない予算で効果を得る努力をされている様子が説明されました。
4日間にわたる真剣な質疑応答が終了し、採決の結果、議案第1号「平成22年度富里市

一般会計予算」は賛成多数で可決すべきものと決定しました。
最後に執行部は審査を通じて出された数多くの議論や意見を真摯に受け止め、平成22年度の市政運営を執行されるように強く要請して、予算審査特別委員会報告といたします。

平成22年度一般会計(歳出)

(表示単位未満四捨五入)



議員研修

議会運営委員会視察

期 日：平成22年1月21日及び22日の二日間

視察地及び視察項目

- (1)三重県伊賀市 議会基本条例について
- (2)三重県議会(三重県津市) 議会基本条例について

とみさと議会報編集特別委員会視察

期 日：平成22年1月26日

視察地及び視察項目：館山市 議会報の編集について

みなさんからの請願・陳情

請願第17号

◆市道01-009号線の速度規制等を求める請願
……………継続審査

陳情第15号

◆浩養幼稚園存続に関する陳情……………継続審査

意見書を提出

- ◆生産性の高い競争力に富んだ農家の育成を求める意見書
(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、副総理・財務大臣、農林水産大臣、国家戦略担当大臣、行政刷新担当大臣、内閣官房長官
- ◆国として直接地域の声を聞く仕組みを保障することを求める意見書
(提出先) 内閣総理大臣、副総理・財務大臣、総務大臣、国家戦略担当大臣、行政刷新担当大臣、内閣官房長官、衆議院議長、参議院議長、
- ◆子ども手当財源の自治体負担に反対する意見書
(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、副総理・財務大臣、国家戦略担当大臣、厚生労働大臣、総務大臣、行政刷新担当大臣、内閣官房長官

一般質問

(会派代表・個人)

3月定例会では、2月23日、26日、3月1日、2日の4日間にわたり、3会派の代表質問と、7人の議員による個人質問が行われ、市政に対し活発な議論が行われました。

詳細については、市立図書館にて会議録(5月下旬発行予定)の閲覧、または、富里市議会ホームページ(5月下旬掲載予定)をご覧ください。

※本文は質問者自身の原稿によるものです。

一般質問通告項目(会派代表)

市民クラブ

- (1) 市政運営について

市政会

- (1) 施政方針について
- (2) 行政改革について
- (3) 福祉政策について
- (4) 教育について
- (5) 基盤整備について

公明クラブ

- (1) 平成22年度施政方針にみるこれからの富里市について
- (2) 文化芸術振興について

一般質問通告項目(個人)

布川好夫

- (1) 子ども手当について
- (2) 特別職の職員で非常勤の報酬額について
- (3) 安心安全のまちづくりについて

佐藤繁夫

- (1) 教育問題
- (2) 子育て支援
- (3) 農業問題

秋本真利

- (1) 過去の質問の経過について
- (2) 成田国際空港について
- (3) 各種政策・事業について

高橋保夫

- (1) 重点実施プランについて
- (2) 教育について
- (3) 新型インフルエンザについて
- (4) 農業問題について

中野信二

- (1) 小・中学生の卒業とは何か
- (2) 当市を取り巻く一次救急医療の現状と課題
- (3) 本年1月20日の最高裁判決「市有地の神社」は違憲と当市の対応について

立花廣介

- (1) 教育施設の耐震化
- (2) 社会的弱者に対する諸施策について

柏崎のり子

- (1) 教育問題
- (2) 保健、医療
- (3) 雇用政策

会派等構成

(平成22年3月25日現在)

●議員定数	20人
◆フォーラム富里	5人
◆市民クラブ	4人
◆市政会	4人
◆公明クラブ	3人
◆無会派	4人

市民クラブ

押尾 隆

問 主要事業・財政運営について。

答 認可保育園の創設に対し、県の補助金、市の補助金を活用し、最大限の支援を行います。

成田財特路線として第一小学校から酒々井IC(仮称)までのバイパスの整備を進めます。

財政運営は、税収不足など財政の悪化が懸念されるが、本市が持続可能な基礎自治体として行財政基盤を充実させます。

問 新たな総合計画、基本構想、基本計画について。

答 平成23年から新たな計画がスタートします。昨年一八歳以上の市民五千人を対象に意識調査を実施、公募による市民一九名からなる市民会議を設置し、市民の視点によるご意見を提言され、また、基本構想骨子については審議会に諮った後、4月にパブリックコメントにて皆様からも意見をいただき、基本計画(案)を策定します。

問 乳幼児医療補助金はいつから。

答 小学三年生までの子供に、県は12月から、本市では6月から前倒しで医療補助を実施します。

市政会

窪田 優

問 地域福祉計画の策定とは。

答 高齢者独居世帯の増加、児童虐待等、多様化する福祉ニーズに対して公的なサービスだけでなく、地域住民で支えられるような社会福祉の事業の取り組みとなります。

問 国保への法定外繰り入れ。

答 国保の基盤は、国保税、国県支出金、交付金、繰入金など。安定運営には、徴収率の向上が重要。高齢化と景気の低迷で、富里市も約四割が無職、全国八一二の市町村、つまり、全国の約半数近くが法定外繰りで運営している状況。

問 保育待機児の解消に向けて。

答 保育所の待機児童は、平成22年2月1日現在、合計が六二人、〇歳児二六人、一歳児が一八人、二歳児が一二人、乳幼児の待機が多い状況。平成22年度に社会福祉法人が事業計画している認可保育所、定数一二〇人に積極的な支援を行います。

問 中学三年まで医療費助成を。

答 それには七、三六〇万円程度かかる。22年度は6月から小学校三年生までを対象に実施します。

公明クラブ

大川原きみ子

『施政方針にみる富里市について』

問 次期総合計画策定に向け、市民会議の提言書はどのように反映されるかお伺いします。

答 市民意識調査や基礎調査に基づき、市民会議からの提言書も参考にしながら基本構想の骨子について検討しております。基本構想審議会に公募員三名を委嘱し構成員一五名で諮った後、パブリックコメントを通じ市民の皆様の意見をいただき基本計画（案）の策定に進んでまいります。

問 後期に向けた次世代育成計画の柱と財政計画について。

答 前期計画の達成状況を勘案しつつ、継続または新たな計画など見直しを行い、安心して子育てができる環境づくりを推進してまいります。

問 福祉施策についてお伺いします。

答 障がい者福祉・高齢者福祉・健康増進施策等地域福祉の推進と家庭で安心して暮らせるまちづくりの実現、女性特有のがん検診無料クーポン券を本年度同様実施します。

子ども手当の支給対象者と予算は

答 六、五二七人。八億四、八五二万円

布川好夫

問 平成22年度予算案に、中学校卒業まで一人当たり月一万三千円の「子ども手当」の支給が盛り込まれました。児童手当との併給であるため、地方・事業主負担も求められています。

答 児童手当法の規定に基づき県及び市町村の地方負担が生じ、市の負担額として九、五四八万円の一般財源の予算額を計上しました。システム構築費用に六三四万四千円、事務経費三九四万五千円、その他初年度経費三五一万五千円が国から交付される見込みです。複雑な仕組みとしての制度設計がされました。

『安心安全のまちづくりについて』

問 AEDについて設置状況と点検、さらに、いざという時に使える対応について。

答 市民が多く利用する施設や学校施設に一九台を設置



住宅用火災警報器に助成を

し、正常に動くよう日常点検や消耗品の管理など実施しています。

問 住宅用火災警報器の設置率と推進の取組について。

答 本年度は聞き取りやアンケート調査を三回行い、設置三八%でした。逃げ遅れを防ぐことはもとより、火災を早期に見つけることから、普及啓発・設置調査等を実施する予定です。

問 保育所の待機状況とその対策は

答 民間保育所の創設に支援

佐藤繁夫

問 民間保育所の建設もあるが、保育所の待機状況と、これで対策としては十分なのか。

答 保育所入所申請を受けて、保育所に入所できないでいる児童は六二名で、うち五六名が〇歳から二歳の児童となっており

ます。民間保育所の考えが示されていますが、〇歳児の待機者が二六名おりますので、全ての待機児童解消は難しい状況です。

問 羽村市では保育ママ制度を活用して、待機乳幼児解消に努めているが、富里市では、できないのか。

答 政府も待機児童解消の方策として示している。市としても新設される保育所の入所状況を見て、家庭的保育事業の検討、実施を考えます。

問 短期保険証について、保険のない家庭の子供

に医療をということで、本年度から、一五歳以下の子どもに短期被保険証を交付しているが、その利用状況は。

答 資格証明交付世帯のうち、六二世帯が利用しています。



保育園で遊ぶ子供たち

問 子宮頸がん予防ワクチン接種に助成を

答 早急に検討したいと思います

秋本真利

問 一〇歳から一五歳に接種するの効果がとのことだが、市内の対象となる人数は把握していますか。

答 一、二八一人程度いると思われる。

問 この年代の女子に接種しなければ効果が薄い。この時期に接種すれば八〇%もがんが予防できます。

新年度予算で対応すると期待していたが、残念だが計上されなかった。理由は？ぜひ助成して欲しい。

答 予算を切るものにも、担当課からは要求しなかった。今すぐは無理だが早急に検討したいと思う。

問 学童クラブについては。

答 新規に三カ所ほど整備する。

問 公共交通空白地域に通学手段を。

答 安全に通学できるよう指導する。

問 三人乗り自転車については。

答 調査したいと考えています。

『過去の質問の経過について』

問 基幹産業である農業予算の増を。

答 予算の中で最善を尽くしている。

問 数年前に比較し約一五〇も廃

プラは減っている。減った分の予算はどこに？その分を農家に補助

算はどこに？その分を農家に補助

自治体	対象年齢	助成金額の形態
御坊市	小6	630万円・全額助成
魚沼市	12歳前後	1,000万円・全額助成
下野市	小6	1,500万円・全額助成
南魚沼市	小6	1,170万円・全額助成
志木市	小6～中3	700万円・全額助成

予防ワクチンの公費負担状況

すれば今よりも処理費は安くなる。
答 そうした考えもあると思うが、予算が厳しい。理解して欲しい。
『成田国際空港について』
問 空港の西側に新ゲートの設置を。
答 交通量の分散が期待できる。空港に地区の要望として出します。

問 農地排水対策の考え方は

答 国有地可能か調査費を計上しました

高橋保夫

問 長雨が続き畑が被害を受ける状況が続いていますが、対策は。

答 県営畑地帯総合整備事業の中で排水計画されており、十倉地域は高野地先に二カ所の調整池が完了し、両国沖地区も順次実施しております。

問 国有地・農林省名義の土地利用を図り調整池をつくるべきでは。

答 調整池として利用可能か、平成22年度において調査費を計上しており、検討してまいります。

『教育について』

問 学校適正配置への取組について、現状を適正と考えているか。

答 適正な学校規模については多様な見解があり、統一的な基準を導き出すのは難しいと考えます。

問 今後の児童生徒数の見通しは。

答 平成元年からみると平成2年の六、七三二人をピークに、今年度は四、〇二八人で年々減

少傾向にあります。これから予測すると今後も減少傾向は続くものと予測されます。

『重点施策プランについて』

問 環境美化推進について。

答 ポイ捨て防止を呼びかける標識を設置し、花壇に花の植栽、管理をお願いして環境美化を図っておりアダプトプログラムはボランティアの協力で成果を挙げています。



ボランティアによる花壇（富里台入口）

問 中学校を卒業するということは何か

答 一五歳で中学校の課程を修了したこと

中野信二

問 小・中学校を卒業できる条件は。

答 学校教育法施行規則第五十八条には「校長が全課程を修了したと認めた者には卒業証書を授与しなければならぬ」と定めています。

問 文科省は義務教育で最低限身につけておかねばならない学力を定めているか。

答 文科省の学習指導要領は、児童・生徒に教える内容の基準を示しているが、学力は定めていない。

問 市立小・中学生の基礎学力をどのようにとらえているか。

答 平成22年度から当市独自で基礎学力到達度調査を実施する計画です。個々の基礎学力をとらえ、個別に支援を必要とする児童・生徒を把握し、指導改善を図りたい。

問 低学力からの脱却対策は。

答 各学校では、少人数指導、習熟度別指導など指導方法の工夫改善や宿題の工夫、放課後学習指導や夏休みの補習授業を行っています。

問 義務教育では「原級留置（留年）」は許されるか。

答 日本の義務教育制度は年齢主義であり、六歳から一五歳の九年間を義務教育の年齢としている。一五歳になれば自動的に学校に行かなくてもよい、という制度になっっている。当市には該当者はいない。



明るい未来へ夢膨らむ卒業

問 児童虐待を防ぐ体制強化を求める

答 しっかりしたところをつくっていく

立花廣介

問 子供相談の状況はどうですか。

答 市児童相談室において、子供や家庭に関するさまざまな相談に応じており、今年度は1月末現在、延べ一、五〇〇回余り。うち児童虐待相談一九件、家庭環境の問題などから複雑なケースが増加しています。現在、児童相談室は、非常勤特別職の相談員四名、原則二名体制で対応しています。

問 最近深刻な虐待死問題が報道されています。

私は子供がこの世に生まれて親の虐待で死んでいく。こんなことは絶対に富里では発生させてはならないと思います。

今まで報道されている事例では学校その他の関係機関が虐待を把握しているながら、結局、子供のいのちが救われなかった。

今の子供相談室、非常勤職員の業務では、休日・夜間、緊急の一時保護などは踏み



相談に応じている相談室

込めない。

子供を救うための業務を明確にする必要があると思いますが市長の見解はいかがですか。

答 私も虐待は絶対あってはならないと認識しています。やりとりを聞いていて確かにぼやけているところがあると思います。今後、もっと勉強してしっかりとしたところをつくっていききたいと思っています。

問 就学援助制度は利用しやすく改善を

答 基準づくり準備・改善できる所は検討

柏崎のり子

問 文科省によると平成20年度就学

援助制度受給者は過去最多の一四四万人に増加し一〇年間で一・七倍とのことです。再三質問していますが、この制度は教育を受ける権利を保障する心強い制度。家計の減収深刻化の中、子供たちが安心して学べるようにするのが教育行政の役割であり国と市の責任です。準要保護は収入基準のおおむね一・五倍以下で対応とのことですが、印旛管内比較では受給率が低いです。基準をつくり父母に示すことで申請しやすくなります。

答 基準の制定に向け進めます。

問 基準ができれば給食費未納対策の申請勧奨もできると考えます。

答 制度活用ということで給食費等、ほかにもPRを図っていきます。

問 お知らせは教育的配慮の内容に改善し周知配布

すべきです。

答 改善できるところは対応します。

問 民生委員の助言等について、就学援助法施行令から文言が削除されて法的根拠がなくなっており、申請も簡素化すべきです。

答 収入だけでは判断できない旨の文科省通知もあります。

問 卒業アルバム、体育実技用具費など独自の補助をふやしている自治体もあります。ぜひ検討を。

答 総合的にかんがみて検討します。

2010年度就学援助の支給内容と金額案(年額) (単位:円)

支給項目		小学校	中学校
学用品費	学用品費	11,000	21,700
	体育実技用品費	スキー(小) 25,300、(中) 36,300、柔道(中) 7,300、剣道(中) 50,500	
入学準備金 (新入学児童生徒学用品費等)		19,900	22,900
通学用品費		2,170	2,170
通学費		38,200	77,200
クラブ活動費		2,550	26,500
修学旅行費		20,600	55,700
校外活動費	宿泊を伴わないもの	1,510	2,180
	宿泊を伴うもの	3,470	5,840
給食費		実費	
医療費		トラコーマや中耳炎、虫歯などの6つの学校病の治療費	
日本スポーツ振興センター掛金		小中学校の掛金の2分の1	

【注】表は国の基準額。実際には自治体や学年によって違います。

教育費に困ったら申請を



出荷を待つ富里の花々（大和地先）

議会を傍聴しませんか

6月定例会は

6月1日（火）から開会予定です。

※詳しい日程などは議会事務局にお問い合わせください。
※本会議の様子は市民課ロビー（市庁舎一階）のテレビでも
ご覧いただくことができます。

ご意見・ご感想をお寄せください！

議会報を読んで感じたことなど
皆様のご意見をお待ちしております。
また、議会報は市議会ホームページでも
ご覧いただくことができます。

〒286-0292 富里市七栄652-1 議会事務局
TEL. 0476-93-6492 FAX. 0476-91-3595

富里市議会ホームページアドレス

<http://www.city.tomisato.chiba.jp/gikai/index.html>

編集後記

「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉どおり春分の日を迎えて、日増しに暖かさや日差しの明るさを感じる季節となりました。野山や庭先には、こぶし、れんぎょう、木蓮、菜の花、そして桜と花々が咲いています。

春の訪れが年々早くなっているように感じます。
3月定例会は平成22年度予算審査があり、活発な論議が行われました。限られた予算の中で市民の皆様が安全、安心な暮らしができるように、最大の効果を発揮した住民サービスを期待したいものです。

すべて行政にお任せではなく、私たちの身の回りでできる自主生活防衛を考えてみませんか。

議会報は議会の内容を市民の皆様様に正確にわかりやすくお伝えできればと思っています。

編集委員になって3年、研修会や視察に参加し勉強を重ねてきましたが、今後も少しでも多くの皆様様にわかりやすく、読みやすい議会報となるよう努力してまいります。

（塩田和夫 記）

とみさと議会報編集特別委員会

委員長／高橋益枝 副委員長／高橋保夫 委員／塩田和夫、中間幸一、立花廣介、布川好夫、窪田 優

次回（平成22年6月定例会）は8月1日発行予定です。



再生紙を使用しています